

平成 21 年1月 22 日

各 位

会社名 アールビバン株式会社
代表者名 代表取締役社長 野澤 克巳
(JASDAQ・コード 7523)
問合せ先 経営企画室マネージャー 中島 章裕
電話番号 03-5159-7177

投資有価証券評価損に関するお知らせ

当社は、「その他有価証券」に区分される保有有価証券のうち、時価が著しく下落し、その回復が困難であると認められるものについて、平成 21 年3月期第3四半期末において、減損処理による投資有価証券評価損を特別損失に計上する必要が生じたのでお知らせいたします。

なお、四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理につきましては、四半期洗替え法を採用しているため、平成 21 年3月期の期末日の時価により、当該評価損の計上額が変動する場合、もしくは計上しない場合があります。

記

1. 平成 21 年3月期第3四半期末の投資有価証券評価損の総額 (連結)

(A)平成 21 年3月期第3四半期末の投資有価証券評価損の総額	131 百万円
(B)平成 20 年3月期の純資産の額 (A/B×100)	19,370 百万円 (0.7%)
(C)最近5事業年度の経常利益の平均額 (A/C×100)	1,353 百万円 (9.7%)
(D)最近5事業年度の当期純利益の平均額 (A/D×100)	425 百万円 (30.9%)

(個別)

(A)平成 21 年3月期第3四半期末の投資有価証券評価損の総額	131 百万円
(B)平成 20 年3月期の純資産の額 (A/B×100)	19,370 百万円 (0.7%)
(C)最近5事業年度の経常利益の平均額 (A/C×100)	465 百万円 (28.2%)
(D)最近5事業年度の当期純利益の平均額 (A/D×100)	70 百万円(186.4%)

(注) 最近に終了した事業年度の経常利益又は当期純利益が10億円未満のため、最近5事業年度の経常利益又は当期純利益の平均額(経常損失又は当期純損失の事業年度は0として計算)としております。

2. 今後の見通し

平成 21 年3月期通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、見通しが明らかになり次第お知らせいたします。

以 上